
麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

県大会を終えて(総括)

副校長兼6年サブコーチ 古田 十

県大会を終えて、全学年の打ち上げに出席して、リトルラグーマンの原稿の期限を控えて焦りながらパソコン叩いています。

本年度の麻生の県大会は

3年生：3勝1負(準優勝)

4年生：2勝6負

5年生：4勝4負

6年生：1勝6負1分

となりました。

3年生おめでとう！他学年次はもっとがんばろう！

私は、学年コーチをしている関係で他学年の試合をほとんど見られませんでした。打ち上げのみなさんの話を聞いているとその光景はなんとなく想像ができました。

4年生も負けが多いですが惜しい試合もいくつかあったようです。

5年生は五分。来年は勝ち越しましょう！

6年生も1分の田園戦は良かったと思います。

スポーツの世界では負けで得るものが多いと良く言います。

負け方が大事だとも言います。

神奈川のラグビーのレベルは高い。上には上がいます。

ぜひ、関係者全員、目標を定めてください。

選手たちは、あそこに勝ちたい、自分はこんなプレーができなかったからがんばりたい、グラウンド1周を何秒で走れるようになりたい・・・

コーチたちは子供たちにこんなことを教えてあげたい、この子にはこういうプレーができるようにさせたい。

ご父兄のみなさんにはお願いですからぜひ「メシ」たくさん食べさせてください!!!

年が明けると麻生ラグビースクールは新年度を迎えます。

来年もよろしくお願いたしますm(_ _)m

以上

県大会を振り返って

高学年技術指導担当 上田 博朗

高学年の皆さん県大会お疲れ様でした。みんなは、何らかの個人目標を持って大会に挑みましたか？目標を掲げて達成するために努力をすることがラグビーのみならずとても大切なことだと思います。

たとえばなにかに取り組んでいるときに「辛い選択肢」と「楽な選択肢」があった場合、みんな「楽な選択肢」を選ぶはずですが、掲げた目標を達成するためにあえて「辛い選択肢」を選ぶことを意識できるようにしてください。

さて、今年の県大会ですが夏合宿までの課題にも挙がっていた「サポート」について注目してきました。サポートとは見方が持ち込んだボールを相手は必死に争奪しにきます。それを近くにいる味方が素早く寄ってボールを味方につないでいくことです。近年のラグビーは、ブレイクダウンと呼ばれるコンタクトが発生したときに行われるボールの争奪戦が、非常に重要なプレーの一つになってきています。

今回、高学年の県大会の中で、リーグ内で強いチームはこのサポートが非常に速いことがよくわかりました。特に6年生は「サポート」にこだわって練習を重ねてきました。その成果も随所に見られ県大会前の交流戦などでかなりの達成度を感じ、県大会でもかなりできると期待しておりました。

しかし、強豪と呼ばれるチームの「サポート」はさらに上を行く素早いものでした。麻生のレベルが低かったわけではなく、もっと高いところで目指すべきものが見えた大会でした。

5年生の試合においてもこれは同様でした。特に横浜、田園と横須賀の3チームはサポートだけでなく、とても精度の高いプレーを感じました。「よくラグビーを理解しているなあ」と感心させられました。来年はきっとこれらのチームとの差を縮めさせてみせます。

ラグビーは集団スポーツの中でもチーム内での味方を想いやる気持ちがとても重要なスポーツです。一人で勇敢に持ち込んだボールを味方がサポートして初めて活きたものになります。また、大きな相手に果敢に飛び込んでタックルしても止まらないときは近くの味方が倒すサポートをしてほしいのです。

必ずしも結果がすべてではありませんが、6年生のみんなはファイナルカップという次の目標が目の前にあります。県大会で負けた相手に対しても、味方を想う気持ちと勇敢なプレーをもって、麻生のチーム力で立ち向かって納得のいくファイナルを戦ってください。5年生のみんなはいよいよ最終学年になります。来年は充実の年になるよう頑張りましょう。

県大会を振り返って(中学年)

中学年技術指導 米元 勇一郎

選手みんな、県大会お疲れ様でした。嬉しい思い、悔しい思い、辛い思い、色々な思いをしたと思います。それも全て良い経験です。中学年のみんなは来年も県大会があります。来年は去年よりも良かったと思えるよう、これからまた頑張って練習していきましょう！

さて、技術指導という立場から少し振り返ります課題はやはり「タックル」と「ボールが出ない」の二つでしょうか。他にもあるかとは思いますが、皆様から同じようなご意見が聞かれます。

まずタックルですが、「気持ち」だけではどうにもなりません。正しいテクニックが身につくよう、基礎からやる必要があります。また、タックルが怖いものではなく楽しいものと子供に思ってもらう努力が必要と感じます。楽しくなれば子供達はどんどん上手くなっていくでしょうから、コーチの皆様とアプローチの仕方を検討していきたいと思います。

次にボールが出ない事です、オーバーが弱いとよく聞きます。もちろん姿勢が高かったり手だけで行ったりという事もありますので今後も練習は必要かと思えます。ですが、ボールが出ない事の責任の半分以上はボールキャリアにあると私は考えます。今後はボールキャリアが如何に味方にボールを繋げるかをテーマとしてコンタクトエリアの練習をしていきたいと思えます。

また、麻生は比較的体が小さいので、なるべくコンタクトをせず。パスの回数がもっと多くなるようなチームにしたいと考えてます。

「子供達が楽しいと思える事」を第一に考え、技術指導として麻生RSに貢献できるよう、無い知恵を絞ってやっていきますので、今後ともご協力のほど、宜しくお願い致します。

麻生ラグビースクールの今昔物語

3年コーチ 佐藤 満弘

<歴代校長>

昭和58年になると、濱野さん（早稲田大学スポーツ学教授）、安齋さん（東海大OB）、鈴木章さん（南海建設）、網野さん（調理師）が入ってきました。その後、平成元年にいたる間、続々とコーチ陣は強化されていきました。現校長、三浦さんが入られたのは昭和61年のことだと思います。

昭和60年、濱野さんが校長になりました。初代校長です。

福山さんは、組織が嫌いでした。正式に校長になったことはありません。テレやだったのかも。濱野さんは、教授だけに理論的な人でした。ラグビー経験はありません。スクールのラグビー憲章・規約を作ったのです。

2代目が安齋さんです。”アンチャン” 東海大学ラグビー部を卒業しています。中西さん、小坂さんは彼の後輩です。この人は変わっています。入ってからまもなく、菅平にラーメン店を開きました。私どもには割引をしてくれました。息子が卒業するとやめてしまいました。いまでも山光館に行く途中、右側に店は残っています。その後、港北インター近くで同じくラーメン店、たたんで植栽店、今では母校・東海大学の職員をやっています。

3代目が木坂さんです。このとき松沢さんがコーチと入ってきました。30代の若さです。慶応高校・慶応大学を学び、高校時代にラグビーをやっていたとのことでした。それから3年もたつたでしょう、県会議員に立候補し見事当選しました。その後、2期もつとめたあと、衆議院議員、神奈川県知事、参議院議員となりました。県会の選挙のとき、ラグビージャージを着て演説しているのを見たことがあります。

4代目、森山さん。5代目、平松さん。6代目、佐藤（豊）さん。7代目、藤田さんと続きます。

<練習場所>

スクールの練習の本拠地は王禅寺小でしたが、ここは野球、サッカーとの共用、サッカーは午後で問題はないのですが、野球とは共用、しかたなく、ほかを探します。

鶴亀松公園、麻生小建設用地、リブレ建設用地（管理者が来て怒られましたが謝るのは私の役目）、一番使ったのが白山公園でした。あるとき、白山公園を使うつもりだったのが、協和銀行（いまのりそな銀行）の守衛さんがきてグラウンドを使ってもいいよと言ってくれました。自然芝を短く刈り込んだグラウンドに驚いたものです。ほとんど使用されていなかったようです。後にも先にもこのとき1回のみでした。守衛さんの好意によるものでしょう。このグラウンドは、一時は川崎市が買い取るという話があったようですが周辺の住民が騒音がひどくなると反対し、実現はしませんでした。買い取ってれば、北部のスポーツ施設として有数なものになっていたでしょう。

その後、調布短大の空き地を利用しました。結構長く使わせてもらいました。

それから商船三井になります。本格的なラグビー用のグラウンドを使ったのは初めてのことです。

ただ、駐車場が難点でした。このころになると生徒数が100人近くになっていたのです。

それぞれの時期に練習場所の確保の努力していただいた皆様に感謝します。

日大稲城グラウンドになります。本格的な人工芝、諸設備が整っています。

このようなグラウンドで、練習ができることは子供たちにとってなんて幸せなことでしょう。

現校長の三浦さんのご尽力のたまものと考えております。



県大会を終え・・・

DAGS コーチ 小坂

今年はチーフコーチ、FW コーチを変え新しい方針で戦うことを決意・・・
しかし 結果は県下4位、予選リーグで敗退。決勝リーグには勝ち進めませんでした。
3強には入ることができず、悔しいシーズンとなりました。

チームの雰囲気とか、集中力は以前よりは良くなって来ましたが、なかなか勝ち進むことができず悔いの残る結果となりました。来年は更なる進化をとげ、基本を見直し、体力向上、ケガの無い体作り、柔軟な体作りを目標として全国1位をめざし初心に戻って頑張ろうと思っています。

また、来年からは中学だけでなく小学生から基礎体力、柔軟性を見直し、しっかりとした中学生、小学生らしい体作りに着手していきたいと考えています。また DAGS に限らず、麻生 RS、グリーン RS の枠を越え基礎体力の向上を視野に幅広い指導を心がけ日本一を目標に頑張ろうと思っています。応援の方よろしくお願ひします。

県大会を終えて

DAGS コーチ 曾我 浩

今年のDAGSの県大会の成績は、2・3年生を主体としたAチームは、予選を2勝1敗、ブロックトーナメントで、横須賀 RS に勝ち、11チーム中4位、1年生を主体としたCチームは1勝5敗の成績でした。

Aチームは、2年生も体を張って頑張りましたが、あと一步のところ、予選を全勝で終えることが出来ませんでした。

また、キャプテンの山本凌介は、いつもチーム内で声をかけ続けていました。

Cチームは、負けは多いものの、限られた人数で、2年生の応援をもらいながら、プレーしていました。

練習試合でしたが、横浜Cチームには勝利して、小学生の頃から一度も勝てなかった相手に勝ったことの自信はついたと思います。

来年は、新1年生が入ってきますが、これからは、練習や試合のときだけでなく、下級生を指導するにふさわしい、先輩に是非なってもらいたいと思います。

年末年始は、花園で、山本凌介をはじめ、麻生の先輩が活躍することでしょう。

DAGSのメンバーは、多くの人たちに支えられて練習できているということをお忘れずに、これからも練習に打ち込んでください。

ご父兄のみなさま、引き続き、ご支援よろしく申し上げます。

最後の県大会を終えて

3年 山本 凌介

僕は、DAGSの最後の大会に向けて、様々な思いがありました。一つ目は、キャプテンとしての思い。自らチームの先頭に立ち、仲間を引っ張ること。

二つ目は、この大会でDAGSのメンバーとできる最後の試合であること。悔いを残さず完全燃焼するという気持ちで挑みました。

結果は、田園に敗れ4位で終わりましたが、この大会では技術だけでなく、気持ちの面でも多くのことを学ぶことができました。

DAGSでやる最後の大会は終わりましたが、高校生になってもお互い良いライバルとして、頑張っていきたいと思っています。

県大会を終えて

1年 古田 空

今回の県大会での自分の目標は「輝く・目立つプレーをする。」だったのですが、振り返ってみると、1つ目のポイントでは輝けるけれど、2、3とフェイズを重ねていくと、だんだんバテてしよっぱいプレーが増えてしまうので、1つ1つのポイントを無駄にしないで全力でボール確保を目指したいです。

また、次シーズンでは、先輩の中に混ざっても「輝く・目立つプレー」をして、Aチームの座を2年の先輩から奪い取りたいと思います。

目指す

1年 齋藤 裕人

県大会では思った通りに動けませんでした。

僕が目指しているのはAチームのスタメンに入ることです。

僕は今Cチームでも活躍できていない状態です。他の皆が上手くなって行くのに自分はあまり上達しないのが悔しいです。

僕は少しでもAチームに入れるようにまずは体を大きくしたいと思います。次にメンタル面がかなり弱いので心を強くしたいです。

今自分ができることをしっかりこなしてAチームに入れるように頑張りたいです。

県大会を振り返って

2年 萩原 睦

僕は、今回の県大会では、ベンチで途中出場が多く、前半や後半の半分は応援でした。でも来年は前半から出て、勝利に貢献したいです。そのためにタックルで体をあてて相手が突破できないようにしたいです。あとアタックが苦手なので、もっとちゃんと前に出られるようにしたいです。

県大会を振り返って

6年生チーフコーチ 山本 慎一

小学生最後の県大会が終わりました。

残念な結果となりましたが、難しい状況の中で子供達はよく頑張ってくれました。

全体としては、夏合宿を終えてもなかなかチーム力が上がらず、苦しい状況が続きましたが、

9月に入り徐々に子供達の意識が変わり、本来の実力が発揮できるようになりました。

試合内容については、今年のスローガンである「前へ出る全員ラグビー」を実践した試合や、最後まで諦めず残り90秒で同点に追いついた試合など多くの感動をもたらしてくれました。

本当にありがとう！

でも君達の実力はこんなものではありません。コーチが一番よく分かっています。

この悔しい思いを糧に、ファイナルカップ優勝に向けて一生懸命練習していきましょう！

25人全員が一丸となって戦えばきっといい結果が出ると信じています。

みんなで最高の思い出を作ろう！！



県大会

6年生キャプテン 小坂海歩

県大会では最後の最後で残念な結果になってしまい「次こそは・・・」と言っていた県大会が終わってしまいました。

私は個人としてもキャプテンとしても声があまり出せずみんなに迷惑をかけてしまいました。

相手チームに足が速くて突破できる子や大きい子がいるとタックルができずに得点を重ねられてしまいました。

藤沢戦、田園戦ではみんなでタックルに行けたり、ボールをつなぐことができたり、良い面もありました。

あと2ヶ月ですが、タックルにいけるようになってメンバーに選ばれるようにがんばっていきましょう。

県大会の感想

6年生バイスカプテン 萬場 康生

ぼくは、最後の県大会ではやりたい事が出来ませんでした。声が出なくてチームがまとまらないし、ラインの深さ、広さ、ボールをもらうスピード、ディフェンスの時の前に出る姿勢も足りなかったと思います。

次は、ファイナルカップです。県大会で出来なかったことを一つ一つ出来るようにして優勝したいです。



「最後の県大会」

6年 米元 悠翔

僕は県大会でAグループと分かった時、正直ビビってしまいました。それはプレー中にも出てしまい、オーバーやタックルを手でいってしまいました。でも一回だけ藤沢戦でボールを持って前に出ることができました。その時は相手をかかわしてトライできそうでしたが、そのあと転んでしまいトライできなかったので、ファイナルカップまでに体をつくって、体かんでも強くてファイナルカップのスタメンに選ばれたいです。

県大会で出来たこと、出来なかったこと。

6年 阿部 凌大 (りょうた)

藤沢戦で ラックからオーバーでマイボールに出来たことや、モールのときに頭を入れて押し崩すことが何回かできました。

できなかったことは、低い姿勢でタックルができなかったことと、パックできなかったことです。あと、走ってくる相手をそのまま止まって受けてしまったことです。

他にも声を出せなかったし、練習したことを試合で出せませんでした。

ファイナルカップに向けて頑張りたいことは、まず、タックルを低い姿勢でパックをすることと、それができるようになったら、思い切って飛びついてタックルできるようにしたいです。それと、とにかく声を出して、チームが落ち込んでも盛り上げるようにしたいです。

最後に、気持ちを強くしたいです。

先制点を取られても、あきらめずに「勝つ」という気持ちを持てるようにしたいです。



残念だった県大会

6年 横尾 瑛

今年の県大会Aチーム

は1勝2敗1引き分けの結果で終わりました。
コーチの期待に応える事が出来ませんでした。
僕はBチームでも貢献出来ず勝たせる事も出来ませんでした。
もっと練習して、体も大きくして、ファイナルカップではもう少し上を目指して頑張りたいと思います。

県大会で学んだこと

6年 上田武蔵

ぼくは今回の県大会で、色々な事を学びました。
まず一つ目として、パスの精度が100%仕上がっていないことです。
横浜戦の時に、相手のフォワードやハーフなどのプレッシャーに押され、何度かポンポンテキーナところにパスを放ってしまい、負けてしまいました。
個人差はありましたが、自分ももっといいパスを放っていれば、点差を縮めることは出来たはずなので、悔しいです。
二つ目はタックルです。藤沢戦では、ボンボンボンボンタックルにいけていたのに、横浜戦ではかすりもしませんでした。
理由を考えると、藤沢のチームは比較的縦に走るのに対し、横浜のチームは横に走った後、グンと縦に走っていたので、そこをタックルできませんでした。
なので、ファイナルカップの時に、横に走るチームがいたら、何とかくい止めたいです。
この県大会の結果をよく考え、対策をし、ファイナルカップに備えたいです。

県大会

6年 吉田隼輔

県大会では、前に出るディフェンスとタックルのパックができませんでした。なので、前に出るディフェンスとタックルのパックの練習をして、ファイナルカップのメンバーに選ばれて、練習の成果を出して、優勝したいです。

最後の県大会を終えて

6年 日笠壮太

結果は3位でくやしかった。
練習で脱きゅうしてしまって、練習や試合ができなくて、3試合目がぶつつけ本番だったから思ったように動けなくてくやしかったです。
この県大会でできなかったことをファイナルカップまでにできるようにして、絶対に優勝したいです。

県大会を終えて

6年 本田昂大

最後の県大会は、1勝しか出来ず、とても残念でした。
自分のプレイも満足できませんでした。
なぜなら1トライしかできなかったからです。
それにタックルも自分ではだいぶできるようになったと思ったけれど、
実際は、前に出てタックルが上手くできず、止められないことが多々ありました。
なので、次のファイナルカップに向けて、前に出てタックルをできるようにしたいです。
また、トライを取れるように大きい声で呼んで、ボールをもらえるように練習をします。

そして、メンバーに選ばれるように頑張ります。
もし、メンバーに選ばれなかったとしても、選抜のメンバーを全力で応援したいと思います。



小学生最後の県大会

6年 角田翔

最後の県大会だったのに、1試合も勝てず悔しかった。また、Bチームのメンバー全員で戦えなかったのも残念でした。

でも、Bチームのキャプテンとして良い経験ができました。

ファイナルカップは、6年生全員で力を合わせて優勝したいと思います。

強くなる！

6年 山内 太朗

県大会は、Bチームで思ったプレイ（みんなでつないでいくパス）ができなかったことがとても残念です。

タックルは甘かったし積極的なプレイができなかったです。

ファイナルカップでは勇気と自信を持ち、絶対に諦めない積極的なプレイしていきたいです。

最後の試合の日まで、一生懸命練習し、自分自身が強くなって、優勝したいです。

最後の県大会

6年 齋川夏央

今年が最後の県大会でした。

試合は、全部負けてしまってた。くやしかった。

原因はチームとしてまとまりがなかったのだと思います。

ぼく自身のタックルもまだまだでした。

いままで半分しか試合にでれなかったけど、今年はフルで出れたので良かったです。

試合に多くでると慣れてうまくできる気がしてきます。まだファイナルカップがあるので、もっと自信をつけて試合に出たいです。



県大会を振り返って

6年 原田健匠

今年の県大会、全試合SHでの出場しましたが、良い内容ではありませんでした。メンバーがほぼ毎回欠席して、Aチームから何人が借りなければ試合が出来ない状況でした。今年感じた課題の一つはスクラムで相手のSHがいきなり攻めてくると止める事が出来なかった事です。特にフェイントをかけられると毎回引つ掛かるので、ファイナルカップまでには修正したいです。

また、モール、ラック、スクラムからボールを出す時、ボールを持っている時間が長く、素早くパスする事が出来ませんでした。

僕はコントロールをつける事が苦手で、いつも長めに持ってしまうので修正していきたいです。この事を修正して、ファイナルカップでSHとして選ばれるよう頑張っていきたいです。

県大会

6年 飯島 亮太

今年の県大会は、受験勉強の影響があって、1試合しかでられませんでした。

なのでこの試合に懸けたのですが、気合をいれすぎたがために、ミスを連発してしまいました。

これで6年生の県大会は終わってしまいましたが、まだファイナルカップがあります。

僕は、このチャンスを無駄にしないようすることを一番に頑張りたいです。



(左上) 池田昂生・村松京弥・坂脇優来・無田快・中島知己・萩原起・都留光平・神下弘太郎・京屋光琉

(左下) 久松豊夢・海老原銀次・宮澤樹・竹川正剛・都留茉奈実・森天・小高佑・原田太陽・濱田昂輝

県大会を振り返って

5年チーフコーチ 濱田 正行

5年生となり、県大会も3回目になりました。

今年も2チーム体制で挑み、結果としては各チーム2勝2敗、全体では4勝4敗という結果になりました。

3年生で1勝、4年生で2勝でしたので毎年勝率は上がっています。

来年は6年生となり、県大会も最後なのでこれから1年は今まで以上に頑張ってお優勝したいと思います。

子供達はみんな仲が良くチームワークは抜群です。

しかし、タックルやパスと言った基本スキル、チームとしてのラグビーの動きはまだまだなので春までに基本スキルの反復練習を行います。

また、今後は最上級生となります。

プレイだけではなく、練習中の声出しから下級生の見本となってほしいです。

コーチ陣としては残念ながら飯島コーチが転勤の為、5年生から離れてしまいましたが残ったコーチでしっかり頑張ります。

これから1年は子供達、父兄、コーチが更に力を合わせる必要があります。

今後とも、ご協力をお願い致します。

コーチの責任

5年生コーチ 斎川 宏

A、B両チームとも2勝2敗。この結果を良しとするかどうかは、個人に依っていいかと思えます。ただ確実なのは、みんなこの時点で出来るプレイを一生懸命頑張ったという事です。若干の

怪我はありましたが大事に至らず良かったです。お疲れ様でした。

翻ってコーチとしての自分自身は？

タイトルにも記しました「コーチの責任」を果たしているのか。

■ディフェンスは素早く詰めろ！ラインを敷け！一線で前に出る！

■タックルは手で行くな、踏み込め！身体を相手にぶつけろ！顔を見るな、へそを見ろ！

■ボールは止まって受けるな、走りこんでもらえ！

50メートルを7秒以内で走れという、個人差による肉体的限界を超えたプレイではありません。

ラグビーというボールゲームに必要な不可欠な基本的プレイです。個人的精度は勿論あって当然です。

はたして、県大会で実践できたか？もし、実践出来ていなかったら、それはコーチの責任以外ありません。

一方的にトライを重ねられているゲームにおけるコーチの役割は？

コーチとして非常に切ない。しかし、だからこそ「的確な(投げ所になりえる)指示」を。

■試合に出ている子供はもっと切なく、辛い。

■どうしていいか分からない状況に陥っている。

「頑張れ」「タックルに入れ」「声を出せ」以外に、子供達に具体的指示を出せて上げたか？

その為に、普段の練習からチームの強みを明確にし、それを基にチーム作りをしたか。その強みを自信に繋げてあげたか。そして、対戦相手を踏まえた準備をしたか？

「対戦相手が強過ぎた」なんて逃げ口上は言いたくない。

私自身も3年目の県大会。県大会を重ねる度に反省点が深まります。

だって優勝したいから。

5年生の県大会

5年コーチ 井上 正敏

両チームとも2勝2敗の結果でした。春から取り組んできた“素早いラグビー”、“全員で前に出るラグビー”がかなりできるようになったと思います。日々成長していることと感じています。この成長を継続し、来年の優勝目指して頑張りましょう。反省としては、コミュニケーション(声出し)だと思います。チーム一体となるためにも、これからもっと声を出していきましょう。来年は小学生最終学年です。最後の県大会に向けて残り1年頑張りましょう。

県大会

5年 宮澤 樹

今年の県大会は、ぼくはAチームのハーフとしてでした。

1試合目は、横浜Bとやって、0-80で負けてしまいました。その時は、雨がふっていたので、ボールがすごくすべってしまい、上手く投げられませんでした。

2試合目は藤沢Bとやって、35-28で、ギリギリ勝つことができたし、トライも少しできたので、うれしかったです。

3試合目は、横須賀Aとやって、0-75で負けてしまいました。タックルなどが、ぜんぜんできなかったもので、くやしいです。

4試合目は、YCとやって、40-28で勝ちました。一度、いいパスをもらって、走ったけど、タックルでたおされたことが、少し残念です。

今年の県大会は2勝2敗だから、去年より1回多く勝てたので、うれしかったです。来年は、さらに多く勝ちたいです。



県大会

5年 中島 知己

今年の県大会は、2勝できて、うれしかったです。

ぼくは、2つのことを学びました。

① 最初から負ける気では、ダメ。

② ブレイクダウンを早くする。

です。

飯島コーチが言ったことを忘れずに、これからも続けていきたいです。

県大会

5年 原田太陽

僕は、3年目で初めて、県大会の全ての試合に出る事ができました。

3年～4年の時に、自分がけがで出られなかった試合では、仲間が勝って来ても、心からその勝利を喜ぶ事ができませんでした。なので、今年5年生で2勝2敗という結果を残せて、本当に良かったです。

思うように走れなくなったとき、水泳で体をきたえたり、ストレッチしたりしてきた成果が出てきたと思います。

技術面で気を付けた事は、三つあります。一つ目は、タックルです。今までに相手に振られて上手くヒット出来なかった事があり悔しい思いをしました。県大会では相手のステップに惑わされないように体の芯を見て、タックルに入るよう特に注意しました。

二つ目は、パスです。後ろを意識し過ぎて、相手の後ろにパスをしてしまうという事があったので、相手に正確なパスを出す為に、渡す人の少し前にボールを出すよう意識しました。

三つ目は、ボールをもらった後の走り方です。ボール取られてしまうことがよくあったので、敵にとられないようにステップを、踏んで上手く避けるようにしました。

この三つの事に気を付けたので、けがもせずにはパワーアップした自分で、全試合出る事が出来ました。なので、次の6年生の県大会で全試合出て、来年度は今年より良い結果を残したいと思います。



県大会を終えて

5年 萩原 起

県大会の結果は2勝2敗で、まあまあな結果だったとおもいます。内容的には、声が出ていてチームワークもあって良かったと思います。ただ足が速かったり体が大きかったりする子に抜かれることがあったので、そういう子にはスピードを緩めるだけでもいいから、体の芯を相手に当ててとめたいです。来年の目標は、新しいチームになるので、まずチームワークを第一にして、それから今回出来なかった事を出来るようにして県大会で優勝したいです。もう一つの目標は、右パスを速く遠くへ投げられるようにしたいです。理由は、6年生になったら投げる距離も増えると思うので右パスを速く遠くに投げられるようにしたいです。

県大会

5年 森 天(そら)

今回の県大会で、見つけたぼくの課題は、①タックルをもっと低くすること、②タックルを外さないこと、③後半バテなくするスタミナをつけるというこの3つです。

理由は、タックルを止められないことがあったり、ステップでかわされたりしたこと。そして、試合の後半で足が止まっていたからです。

これから、来年の県大会に向けてもっと練習して頑張ります!!



県大会2014

5年 竹川 正剛

今年のチームの目標は、素早いラグビー・前に出るラグビー・タックル・コミュニケーションで自分の目標はタックル・声を出す・相手を取りやすいパスをする事でした。

素早いラグビーはブレイクダウンには入れなかったが素早い動き出しはできました。

前に出るラグビーは一線が出ていない時があったので、みんなに声をかけていきたいです。

タックルはなかなか体を当てる事が出来なかったです。もっと練習したいです。

声を出すは、指示はできたけど、仲間をはげますような声をかけていきたいです。

パスは、山なりになる時があるので直していきたいです。

来年は、今年より良い結果を残したいです。

県大会

5年 濱田 昂輝

今年、全体キャプテンをやることになって、実はまったくやる気がでませんでした。キャプテンの経験が少なかったので、まとめ方がよくわからなかったけれども、県大会が終わった頃には、少しはまとめることができるようになったかなと思います。あと少しですが、頑張りたいと思います。



県大会

5年 小高 佑

今年の県大会は2勝2敗と五分五分だったけれど、今年戦って勝てなかった相手に勝てるようになるため、外を抜かれないようにディフェンスの練習を極めて、来年の県大会は頑張りたいです。

五年県大会

5年 海老原 銀次

県大会では2勝2敗でしたが、少しずつ強くなってると思います。土曜日と日曜日にしっかり練習したら、グリーンにも勝てると思うのでみんなで頑張りましょう！

自分の反省ではフルバックなのに、抜かれてしまった事です。あとはキャッチミスをしてしまった事です。

次の県大会では 全員が全力を出して悔いが残らない試合をしたいです。

県大会

5年 都留 光平

ぼくは、今年の県大会で一番心に残ったのは3戦目です。

なぜかと言うと体が大きかったり、足が速い相手にもしっかりタックルに行けて相手に点を一つも取られなかったからです。

だからこれからもどんな相手にもしっかりタックルに行けるようにしたいです。

でもできなかったことは、しっかり声をかけられなかった事です。

声を出してラインの人数のことをみんなに知らせたり、トライをされた後にみんなに声をかけてはげましたりできなかったことです。

だからこれからはしっかり声を出してみんなを引っ張りたいです。



県大会

5年 都留 茉奈実

私は3試合しか出られなかったけども一番いんしょうに残っている試合があります。

それは1試合目です。前半はトライを何本も取られてしまいました。ハーフタイムの時はとてもつらかったです。前半は自分の足が止まったり、あまり真剣にタックルができませんでした。

でも、後半はタックルに行ったり、みんなでボールを回したり、トライラインの近くまで行くことが出来ました。これがチームなんだなあと思いました。
残念ながらこの試合は負けてしまいました。
反省点はスタートが遅い、足が止まっているなどたくさんありました。
でも、チームという事をあらためて思える試合だったと思いました。





県大会を終えて

チーフコーチ 伊藤 信一

4年生の皆さん、県大会お疲れ様でございました。戦績はAチーム、Bチームとも1勝3敗と満足出来るかといえばそうではない結果でした。この一年間取り組んで練習してきたことが、この県大会で十分に発揮できたかな？ 十分に出来た子から、まだまだだったかな？ もっとできたかな？ 今一度振り返って見てください。恐らく、このリトルラグーマンに殆どメンバーからは「タックルが出来なかった。」「オーバーが出来なった。」なんてコメントが多く寄せられるのでしょうか。では、出来る様になるにはどうしたら良いでしょうか。答えは簡単、そう、練習するしかないよね。

今年の5月に秩父宮ラグビー場で行われた、サモア代表戦に出場した日本代表の大野均選手(東芝)が日本代表歴代最多キャップとなりました。試合後に代表としてプレーを続けていられる要因を聞かれ、

「一瞬一瞬の練習を大事にしてきた結果」とコメントしていました。う～ん！素晴らしいですね。日々の練習・努力の積み重ねがあつての結果、さあ！これから高学年9人制へのスタートです。あつと言う間に一年がやってきます。毎回の練習を大事に集中して取り組んで行きましょう！
よく遊び！よく食べる！そして人の3倍練習しましょう！！(勉強もね。)

4年生での県大会を終えて

コーチ 武井 智之

まずは、お疲れ様でした。そして全ての試合を応援することができなくて、ごめんね。

県大会の結果を見ると、決して良い成績ではなかったね。コーチが考える原因としては、練習でやっていることが試合で十分発揮されなかったことと、相手のチームより「絶対に勝ちたい」と思って試合に出ている仲間が少なかったことだと感じました。

練習でやっていることが発揮できないのはコーチの責任です。今後はみんなが「あんなにやったんだから絶対に勝ちたい」と思えるようなキツイ練習をバシバシやっていこう、ついてこいよ。

県大会を終えて

コーチ 外岡 幸隆

新潟単身赴任と子供の試合(高校)観戦のため、県大会全部の試合を見ることができなく、申し訳なく思います。

2チームとも結果は、厳しかったです。特に相手との接点におけるボールの争奪戦におけるファイト(戦い)は、神奈川県内強豪スクールには通じませんでした。またディフェンス面も「手だけ」タックルで、相手を止めることができませんでした。

その中でも、夏合宿以来心がけてきた「チームプレイ」でトライを目指す姿は、随所に見られました。CTBが、相手のディフェンスラインを突破した後、大外にいるWTBにパスを回してトライを取れたプレイや、味方プレイヤーが、ディフェンスを突破し、大きくゲインし、相手に倒された後、あきらめずにフォローした選手がボールを拾いトライにつなげたプレイなど、すばらしいトライでした。

来年度から9人制になります。今でもそうなのですが、1人でトライは取れません。もっとチームプレイを意識して、全員でトライを目指しましょう。また冬場に、課題であるパス、しっかり体を当てるタックルを練習して、春の対外試合では、強豪チームとしっかり戦えるようにしましょう。

県大会を終えて

4年 石野 創太郎

今年の県大会では、キャプテンをやってパスを回せたり、皆に声を掛けられたと思います。キックの時は皆が見ていて緊張したけど、全部のキックを決めることができ嬉しかったです。オーバーに入るのが遅かったことが反省点なので、次につなげていきたいです。

県大会の反省

4年 卯月 快杜

僕が県大会で反省したいことは、オーバーができなくて相手にボールを取られたことです。

来年の県大会では、オーバーをいっぱいしてボールをいっぱい取ってトライにつなぎたいです。

県大会を終えて

4年 黒須 楓

県大会ではボールを持っている人にちゃんとついて行く事が出来たけれど、いつも、ピラーがいなかったところをぬかれていたので、5年生になったらピラーを絶対つくる。4年生はAチームとBチームに別れていたけれど、5年生になったら1チームになるので、全員で力を合わせて5年生の県大会にのぞみたい。

くやしかった県大会

4年 斎川 春朗

ぼくは、県大会で、1回しか勝てなくてくやしかったです。

負けてしまった試合はタックルが弱かったです。それと、モールやラックに入る人が多すぎてディフェンスラインが作れなかったです。ぼくがもっと声を出せばよかったです。来年こそはゆう勝たいです。

県大会をふりかえって

4年 佐々木 廉人

県大会でオーバーが出来たときがありました。そうしたら、ものすごくよろこんでもらえたのがうれしかったです。また活やくできるようにがんばりたいです。

県大会を終えて

4年 佐藤 祐太郎

今年の県大会は失点が多かったのが悪かったところです。いいところは、いろいろな人が点をとっていたところです。それと去年よりみんながオーバーにはいっていたのでそこもよかったです。来年は 9 人制になって相手をぬけることがむずかしくなるので、パスが回るようにしたいです。来年の県大会は今年よりいい結果を残したいです

県大会を終えて

4年 佐藤 仁紀

県大会では、オーバーをがんばりました。試合ではまだトライを決めたことがないので、パスを受けたらいっしょうけんめい走って、トライを決めたいと思います。

やる気

4年 菅田 光真

県大会で「2トライ、5タックル」の目標を立てて、「2トライ、7タックル」して目標をたっ成できた。「目標をたっ成するぞ！」という気持ちがやる気を出させてくれた。来年も目標を立てて、たっ成したい。

県大会を終えて

4年 畑佐 健太郎

県大会ではタックルを体であまりいけなかったのが、来年の県大会ではしっかり体を当てられるようにしたいです。キックも何回か外してしまったので、決められるように練習したいです。パスを回すことはよくできたので、もっと練習して上手にパスがつながるようにしたいです。そして来年は県大会で優勝できるように、1年間練習をがんばりたいです。

県大会を振り返って

4年 原田 康誠

ぼくは県大会が終わって心に残ったことがあります。ぼくは初めての県大会だったので、とても楽しみにしていました。

でも練習試合の鎌倉戦で相手から受けたタックルで背中をけがしてしまい、残りの県大会に出られなくなっていました。僕はとても悔しかったです。でもコーチに『練習の時は、横から声をだしてあげて。』と言われて、練習を見学していると、チームメイトには注意は出来るけど、自分が出来ているのが心配になる事が多かったです。だから、そういうところを見つける事が出来たので、この見学は意味があったと思いました。

県大会の結果は、横浜線は負け、藤沢戦は勝ち、相模原戦は負けと、負け越してしまいました。

僕が来年直さなくてはならない事は、『相手を見過ぎずタックルに行く』事だと思っています。ぼくは、相手がステップを踏みそうときは、足が止まってしまう相手を見てしまうので、足を止めずに自分からタックルにいきたいです。この悔しさをバネにして来年も頑張りたいです。

4年 石野 創太郎 母

県大会お疲れ様でした。昨年より一回り大きくなった体で精いっぱい頑張りましたね。仲間にパスをしてつなぐプレーがたくさん見られ、1年で大きな成長を感じました。他のチームも個々の力に大差はなく一人一人が「勝ちたい」という強い気持ちを持って自分の役割をしっかり果たしていけば勝てる試合も増えると思います。来年はもう一皮むけた皆の姿が見られるのを今から楽しみにしています。





県大会を振り返って

3年チーフコーチ 大坪 功

初めての県大会、強豪揃いの好カード、接戦を強いられることは想定出来たのですが、初戦(VS大和A)で出鼻を挫かれるかたちになってしまった。県大会直前の交流戦で格下相手とワンサイドゲームばかりだった事もあり、慢心、気持ちの緩みがあった事は否めない。調整不足のまま今大会に突入してしまった。。。ここは私自身、反省すべき点です。技術云々ではなくメンタルの部分が大きいです。

しかし、そこからの切り替えが凄かった！ホームの稲城Gでの第二戦(VS藤沢A)では見事な逆転勝利。持ち前の負けん気魂に火が付き、まさに「前に出る全員ラグビー」を展開、チームが一つになった事を実感。私自身この2試合目が一番印象に残っており、子供、コーチ、ご父兄、全員の一体感が生まれ、皆で盛り上がり感動できた事を今でも覚えております。本当に子供たちに感謝です！

そこからは破竹の勢い！第三戦、第四戦と気持ちものり、勢いそのままに望めました。

【県大会結果】

- 19-33 大和A
- 40-29 藤沢A
- 79- 7 鎌倉A
- 54-19 田園B

勝利の美酒は来年に取っておく事にしましょう！

現3年生は、負けん気が強く気持ちが前面に出る子供がたくさんいます。そういった気持ちは一番大事だと思うので、コーチ一同そこは損なわないよう、何よりもラグビーを楽しんで貰えるよう気張らず頑張りたいと考えております。

すいません！サッカー選手を例に出してしまいましたが、ACミランの本田圭佑があのような強者揃いの選手たちの中でフリーキックを絶対に譲らない姿勢と自信。そのプレッシャーを跳ね除けゴールを決めきってしまう姿が衝撃的でした。ああいった姿勢は見習いたいですね。。。

にんげんだもの

3年担当コーチ 原田泰一

A>B、A<C であれば、BCの関係はどうなるでしょうか？

答えは「B<C」となります

少し簡単な問題だと思ったでしょうか。当たり前と言えども当たり前ですが、これは算数に限った話とも言えます

では、アルファベットが『数字』ではなく『人間』だったらどうでしょう？

やっぱり「B<C」が正しい答えなのでしょう？

シンプルに考えれば、人間もやはり「B<C」なのかもしれません。しかしながら、人間の場合、時には「B>C」という答えになることもあります。なぜなら、人間は生きているからだからこそ、いつでも慢心せず怖がらず、目の前の課題に一生懸命立ち向かうことが大切です、決してあきらめることなく…

今年の秋は3年生がそういうことを少しずつ身体で感じる事が出来た県大会だったと思っています。

三年生、準優勝おめでとう

3年コーチ 毛利 昌康

強豪チームを相手に準優勝は立派な結果です。今までの練習の成果が発揮されたと思います。一方で、3年生のメンバーは優勝してもおかしくない可能性を十分持っていました。その面から見ると少し残念です。

ぜひ来年は、どんな組み合わせになっても優勝を目指してください。そしてラグビーをもっと好きになってください。その中で、仲間や、試合の相手の気持ちも理解できる人間に成長してください。

県大会の思い出

3年 小田部 晃太

県大会で、3年生は、三勝一敗で、三回勝てたけど、大和に一回負けたから悔しかったです。僕はスタンドオフで、ハーフからボールをもらって、トライまでもっていったことが嬉しかったです。来年の県大会では、もっとパスを繋げて、タックルもトライも全力を出しきって優勝したいです！



県大会の思い出

3年 中野 竜之介

ぼくはけん大会のし合4回のうちの1回は、ぜんそくが出て出場できなかったけど、出れた3回はよく走れたし、トライも2回できたので、うれしかったです。前よりタックルもけっこういけたし、オーバーもうまくできるようになってよかったです。ぼくはウイングなので、パスをつないでもっとトライを取りたいで

す。

今年は2いだったので、もっとたくさん走ってタックルの練習もやって、来年は1いになりたいです。

最後の最後にトライ

3年 本田 翔太郎

三年生になって初めての県大会、いろいろな会場に行き試合をしました。

どのチームも強かったですが、最初に対戦した大和はすごく強かったです。

大和にだけ負けてしまったので、来年は絶対リベンジしたいです。

僕はこの初めての県大会の最後の試合の田園戦で試合終了ギリギリで、トライすることができました。初トライです。みんなで力を合わせあきらめずにプレーすることが大切だと思いました。来年はタックルが出来るように頑張りたいと思います。

はじめての県大会

3年 諸田 章彦

はじめての県大会は2位でした。

うれしかったことは、教えてもらったオーバーがわかるようになり試合でできたり、みんなでボールをつないで勝てたことです。

くやしかったことは、大和戦に出れなかったことと、田園戦でタックルがうまくできなかったことです。

つぎの試合ではもっと練習してみんなで1位になってよこびたいです！

県大会の思い出

3年 中原 侑温

ヤマト戦:トライがあまりとれなかった。チームワークでのプレイができなかった。

鎌倉戦:トライがたくさんできて、タックルもたくさんできたので、皆がなみにのって試合に勝てた。

田園戦:チームワークでのトライがたくさん取れて、僕としょうたろうのきがあったプレイができて嬉しかった。

今年はみなのがあってチームワークでのプレイができるようになったとおもう。

キックを入れるとカッコよかったので、朝とか学校がおわったあと、公園でドロップキック、コンバージョンキックを練習して、キックがうまくなった。練習したかいがあるなとおもった。



はじめての県大会

3年 野田 航佑

今年さいしょの県大会で3トライできたのでよかったです。

でもキックはミスをいっぱいしたので来年はもっとトライを決めてキックも全部入れたいです。

小田部 晃太 母

来年もチームワークを大切にして、優勝目指して頑張ってもらいたいと思います！

3年 中野竜之介 父

第2試合で逆転して勝ったことが、大会2位になったポイントだと思います。今までは気持ちがしょげてしまい、そのままずるずると負けていましたが、この逆転により“自分たちはできる”と自信を持てたのではないのでしょうか？ そういう意味で、今大会はチームとして精神的に飛躍したと思います。今後はパスをつないでトライを決めるといった、チームワークによる勝利という成功体験を、より多く積んで欲しいです。

県大会を振り返って

3年 野田 航佑の母 朋見

県大会は初戦でいやな負け方をしたので、このまま嫌なムードでいくのかなあと心配していましたが、第2戦の藤沢戦では先制されても取り返す、勝ちに行くといった、本来の3年生の麻生ラグビーが出来ていて本塗布に素晴らしかったです。

この調子で勝ちにこだわって来年は必ず優勝したいです。

合宿以降の交流大会を終えて

2年チーフコーチ 小山田 俊広

2年生の合宿以降の対外試合結果

9月15日 多摩市ラグビー祭り（多摩市陸上競技場）

・第1試合 対多摩RS 20-15 ・第2試合 対R&BRC 30-15 ・第3試合（前半のみ） 対R&BRC 25-5

9月23日 秋季交流戦（海老名市陸上競技場）

・第1試合 対茅ヶ崎RS (B) 15-40 ・第2試合 対グリーンRC 15-50

9月28日 川崎市RS 交流戦（日大稲城グラウンド）

・第1試合 対川崎市RS 45-30 ・第2試合 対川崎市RS 35-25 ・第3試合 対川崎市RS 50-30

10月25日 秋季ミニラグビー交流大会（大和スポーツセンター）

・第1試合 対茅ヶ崎RS 30-40 ・第2試合 対グリーンRS 15-60 ・第3試合 対逗子葉山RS 40-35

10月26日 大学交流戦前座試合（ニッパツ三ツ沢競技場）

・第1試合 対藤沢RS 55-45

11月30日 大和ミルキー合同練習・練習試合（セシリア学園）前半のみ

・第1試合 対藤沢RS 10-5 ・第2試合 対さがみ南RC 40-0 ・第3試合 対大和CCRS 35-20

・第4試合 対藤沢RS 5-15 ・第2試合 対さがみ南RC 5-0 ・第3試合 対大和CCRS 10-5

交流試合といえども試合であれば勝ちたい。しかし勝つことがすべてだろうか？今まで出来なかったことが出来たときの喜び、全力を出し切った達成感。これは勝敗とはあまり関係がないように思う。

今年、久しぶりに低学年担当になった。2月の川崎市RS 交流戦、3月のグリーンRS 交流戦の頃は試合中でも2、3人以外はボールを持たないときは何をすればいいのかな？と立ち尽くしていた子供たち。それが今では我も我もと自分にボールをよこせ「パス」「パス」の声を連呼している。まだまだ、自分が、自分がと一人の力でトライを取ろうとしている。しかし、相手につかまるとボールをつなごう？（苦し紛れにボールをどこかに放り投げるときもある）としているみたいになってきている。春先にははまだパス練習がおぼつかなかった子供たちも、この頃はパスの練習になってきている。あるときふっと感じる時がある。あれ！この子達こんなにパスができていたっけ？子供たちの成長は早い。彼らがどれだけ成長していくのか。みんなでラグビーを楽しんでもらえるように接していきたい。これからも、ご父兄の皆様、担当コーチの方々の力を借りてみんなの成長を応援したいと思います。

これからのもくひょう

2年 ひかさ あつと

タックルを手でいってしまうので、もっとじょうずにタックルできるようになりたいです。

オーバーもきちんとできるようになりたいです。

しあいでトライをたくさんとりたいです。

2年 荒木 鷲摩

「僕は、パスをもっとうまくつなぐようにしたいです。その理由は、相手につかまっても、パスをうまくつなげたら、トライを決められるかもしれないからです。」

2年 佐藤 巧

麻生が試合で勝つために、タックルを強く上手くなりたいです。

おもいっきりがんばります。

2年 中村 和樹

ラグビー好きです。来年の目標は県大会で優勝したい。あとトライ100回決める。

2年 片岡 祐貴

11月の試合でトライを決めたことが一番嬉しかったです。来年もトライできるようにがんばりたいです。

2年 片岡 祐貴 父

1年間、楽しく、元気いっぱい走り回ってくれたので親としてはホッとしています。コーチの皆様、1年間ご指導いただきありがとうございました。



1年生の秋季試合

1年チーフコーチ 河合淳一

1年生は、9月～11月の3ヶ月間で対外試合を17試合戦いました。
結果は16勝1分でしたが、子ども達1人1人が成長を感じさせる3ヶ月間でした。

この3ヶ月間に仲間が1人増えました。
毛利蒼矢（もうりそうや）君です。
これで麻生RS1年生の仲間は9名になりました。

- ① 仲間を一人にしない
- ② 後ろに下がらず前に進む
- ③ お互い声を掛け合う

練習時から上記3点を意識して取り組みました。

①と②は、子ども達が試合中に意識している姿が感じられましたが、どうしても③お互い声を掛け合うは、声の掛け合いができずに仲間でボールを取り合ったり、ボールを持った子の後ろに入っているのにパスをもらえなかったり、まだまだ意識づけが必要です。

子ども達のできた事を誉めてあげ、苦手な事を少しでも克服できるような、子ども達に寄り添える指導者になれるように心がけていきたいと思います。

あきのしあい

1ねんせい かわい りょうま

ちがさきラグビースクールとのしあいで、ラストワンプレーで、あいてのタックルにまけずにトライがとれてうれしかったです。できなかったことは、タックルをしっかりできるようにすることです。

交流戦を振り返って

1ねんせい ふくおか りょう

今回の交流戦では皆タックルやトライを決めて全勝する事ができたので良かったです。
これからももっともっと練習をして試合に勝ちたいです。

1ねんせい くろす しょう

しあいでたくさんかててたのしかった。
タックルをがんばった。
パスがしあいで じょうずに できるようになりたい。

杉浦 圭祐

れんしゅうしていることが少しずつできるようになってうれしい。
パスもできるようになったし、トライも取れる。
これからはタックルができるようにもっとれんしゅうがんばります。
ラグビーが少しのしくなった。

1年生 杉浦圭祐の父 杉浦 輝明

親に無理やり連れてこられて 入校したころに比べれば とても成長しました。練習も試合もちょっとずつ楽しめるようになってきたのではないかなと、顔の表情を見て感じています。ボールを持って走ることができたら、次はカラダを当てること。怖いかもしれないけれど、まずは自分と戦って、その怖さに勝って、ラグビーの楽しみの一つを感じてほしい。ちょっとずつでも良いから 共に成長し、一緒にラグビーを楽しみ、自信と体力をつけて欲しいと願っています。

1年生 毛利 蒼矢の父

10月より麻生ラグビースクールでお世話になっております毛利蒼矢の父です。

私自身が学生時代にラグビー経験があり、心身ともに鍛錬され、またかけがえのない友人との出会いのきっかけにもなった経緯があり、ぜひ息子にも経験させたいと思っておりました。しかし、息子は精神的に非常に幼く、気が小さく内気なため、正直ラグビーには向かないとは思いましたが、とにかく体験させて見ないと始まらないと、グラウンドに足を運びました。ラグビーの概念が全く理解できず、戸惑ってばかりでしたが、たまたま体験初日にグラウンドを1周する機会があり、体力的には何とかかなりそうな手応えでした。また、コーチ陣の熱心かつ魂のこもった熱い指導にも感銘を受けました。息子自身も「楽しかった。」「ラグビーをやりたい」との発言があり、入校に至った次第です。

最近では、なんとなくラグビーの雰囲気慣れてきたようで、「コーチがいろいろ教えてくれて楽しい」と言っており、また練習で一番楽しいのは1対1と回転寿司（対面でのボールの渡し合いのことだと思います）と言っております。11月30日の大和セシリアでの合同練習後には「試合ではみんな上手だから、僕ももっと頑張ろうと思って、トライをとりたい。」と気持ちだけは意気込んでおりました。体も小さく、ルールも把握もままならない状況ですが、コーチの皆様情熱と同級生からの刺激をたくさん受けて、ラグビーにのめり込んでいって欲しいと思っております。





キンダーカップ優勝 おめでとう

幼稚園チーフコーチ 吉田 大輔

キンダーカップ優勝おめでとう。

コーチは試合をみれなかったけど、みんながいっしょうけんめいがんばってくれたことがなによりうれしいです。

これからもっとおともだちをふやして、たのしくラグビーをしようね。

ご父兄の皆様、コーチの皆様 本当にありがとうございました。

昨年に引き続きキンダーカップにて優勝する事ができました。現1年生の昨年のキンダーカップの試合を見ていて、来年この子達がこんなプレーが出来る様になるのか若干心配したのですが、この1年で本当に成長してくれたと思います。何より嬉しいのは、最近ラグビーが好きになってくれて、子供達から試合がしたいとの声が多く聞けるようになりました。本当に嬉しい限りです。今後もラグビーを楽しみと思ってくれる子供を1人でも多く増やして行きたいと思っております。

皆様今後とも宜しくお願い致します。

麻生ラグビースクールの宝物

幼稚園コーチ 牧野 義之

今年もクリスマス、そしてお正月が近づき、このリトルラグーマンの原稿を書いています。各学年とも当スクール生は、この1年間の練習や交流戦、県大会を通じて一段と成長されたことと思います。その中でも、幼稚園チームは、昨年に続いて「大和キンダーカップ」にて優勝をするなど素晴らしい活躍でした。また、練習においては、まだまだ練習に集中できなかったスクール生も、秋風吹くころにはちびっこラグーマンになってきたように思います。特に、来年1年生に進学する年長組は、本当にのびのび逞しく成長したな！と感じています。こうしたちびっこラグーマンたちが、将来の麻生ラグビースクールの支えであり、宝物です。そのことを、改めて心に刻んで今年を締めくりたいと思います。頑張れ！！幼稚園チーム！！

最後に、今の高校3年生が幼稚園だったころが昨日のように思い浮かびます。その中の二人が今年花園に出場します。また、花園に参加できなかったけど、今もラグビーを楽しんでいるOBスクール生がたくさんいます。彼らと同じく、「次世代の若者」の原石である幼稚園チームをこれからも応援していきたいです。また、皆さんも是非心から応援よろしく申し上げます。

県大会試合結果

		10月13日	11月3日	11月23日	11月24日
Aブロック	勝敗	横浜A	藤沢A	田園A	鎌倉A
6年A	1-2-1	0●61	19○7	28△28	14●68

3位

		10月13日	11月3日	11月23日	11月24日
Bブロック	勝敗	横浜B	藤沢B	横須賀A	茅ヶ崎
6年B	0-4	0●85	12●91	0●119	7●84

5位

		10月13日	10月26日	11月3日	11月16日
Bブロック	勝敗	横浜B	藤沢B	横須賀A	YC
5年A	2-2	0●52	35○28	0●75	40○28

3位

		10月13日	10月26日	11月3日	11月16日
Dブロック	勝敗	横浜D	田園C	相模原B	大和A
5年B	2-2	80○0	0●61	21○0	33●54

3位

		10月12日	10月26日	11月23日	11月30日
Cブロック	勝敗	横浜C	田園B	藤沢B	横須賀C
4年A	1-3	19●66	12●49	10●91	57○21

4位

		10月12日	11月3日	11月23日	11月24日
Dブロック	勝敗	横浜D	藤沢C	鎌倉B	相模原A
4年B	1-3	24●43	38○31	12●45	21●56

4位

		10月26日	11月3日	11月9日	11月16日
Bブロック	勝敗	大和B	藤沢A	鎌倉A	田園B
3年	3-1	19●33	40○29	79○7	54○19

2位

秋季ミニラグビー交流大会

月日：9月14日(日) 10:00~13:30

場所：栗田工業G

参加スクール 厚木、茅ヶ崎、麻生

[3年生]

麻生 ○66 - 0● 茅ヶ崎

麻生 ○66 - 12● 茅ヶ崎

[4年生]

麻生A ○69 - 5● 厚木

麻生B ○59 - 14● 茅ヶ崎A

麻生A ○61 - 5● 茅ヶ崎A

麻生B ○54 - 7● 茅ヶ崎B

[5年生]

麻生 ●22 - 35○ 茅ヶ崎

麻生 ●19 - 33○ 茅ヶ崎

[6年生]

麻生A ○43 - 26● 厚木

麻生B ●21 - 43○ 茅ヶ崎

麻生B ●7 - 63○ 厚木

麻生A ○89 - 0● 茅ヶ崎

低学年秋季交流大会

月日：9月23日(火祝) 9:00~15:00

場所：海老名陸上競技場

[1年生]

麻生A ○50 - 0● 海老名

麻生B ○75 - 10● 鎌倉B

麻生AB○40 - 0● 海老名

[2年生]

麻生 ●15 - 40○ 茅ヶ崎B

麻生 ●15 - 50○ グリーンAB

平成26年度多摩市市民大会

月日：9月15日(月祝) 9:40~15:30

場所：多摩市立陸上競技場

参加：多摩RS、R&B RC、麻生RS

[幼稚園]

麻生 ○25 - 10● R&B RC

麻生 ○15 - 5● 多摩RS

麻生 ○25 - 0● R&B RC

麻生 ○25 - 10● 多摩RS

[1年生]

麻生 ○40 - 0● R&B RC

麻生 ○40 - 10● 多摩RS

麻生 ○45 - 5● R&B RC

麻生 ○30 - 15● 多摩RS (2年2名含)

[2年生]

麻生 ○20 - 15● 多摩RS

麻生 ○30 - 15● R&B RC

※前半のみ

麻生 ○25 - 5● R&B RC

[3年生]

麻生 ○25 - 5● 多摩RS

麻生 ○25 - 10● 多摩RS

麻生 ○25 - 0● R&B RC

[4年生]

麻生B ●15 - 20○ 多摩RS

麻生A ○50 - 0● R&B RC

麻生A ○50 - 5● 多摩RS

麻生B ○20 - 0● R&B RC

麻生AB●20 - 25○ 多摩RS

[5年生]

麻生A ○20 - 0● R&B RC

麻生B ●5 - 20○ 多摩RS

麻生A ●5 - 20○ 多摩RS

麻生B ○30 - 0● R&B RC

[6年生]

麻生B ●0 - 45○ 多摩RS

麻生A ○60 - 0● R&B RC

麻生B ●15 - 20○ 多摩RS(5年生)

麻生A ○25 - 0● 多摩RS

[コーチ対抗戦]

麻生 ○20 - 5● 多摩RS

平成26年度多摩市市民大会

月日：9月28日(日) 9:00~12:00

場所：日大稲城G

参加：川崎RS、麻生RS

[幼稚園]

麻生 ○25 - 15● 川崎

[1年生]

麻生 ○65 - 30● 川崎A

麻生 ○60 - 0● 川崎B

麻生 ○45 - 15● 川崎

[2年生]

麻生 ○45 - 30● 川崎

麻生 ○35 - 25● 川崎

麻生 ○50 - 30● 川崎

[3年生]

麻生 ○68 - 0● 川崎A

麻生 ○72 - 0● 川崎B

大和キンダーカップ

月日：10月25日(土) 9:00~12:00

場所：大和スポーツセンター

[幼稚園] 【優勝 2連覇】

麻生 ○45 - 10● 横浜

麻生 ○70 - 15● 大和

[4年生]

麻生A ○66 - 14● 川崎A

麻生B ●33 - 35○ 川崎B

[5年生]

麻生A ○44 - 28● 川崎

麻生B ○54 - 21● 川崎

[6年生]

麻生A ○82 - 7● 川崎

麻生B ○40 - 12● 川崎

低学年交流大会

月日：10月25日(土) 12:30~15:00

場所：大和スポーツセンター

[1年生]

麻生 ○45 - 5● 横浜B

麻生 ○20 - 10● 横浜D

麻生 ○40 - 20● 横浜E

麻生 ○30 - 20● 茅ヶ崎AB

[2年生]

麻生・大和 ●30 - 40○ 茅ヶ崎

麻生・大和 ●15 - 60○ グリーン

麻生・大和 ○40 - 35● 逗子葉山

関東大学対抗戦 前座試合

日時：10月26日(日) 12:00~13:00

場所：ニッパツ三ツ沢G

試合：関東大学対抗戦

明治大 vs 明治学院大学

[2年生]

麻生 ○55 - 45● 藤沢

低学年交流大会

月日：11月30日(日) 9:00~12:00

場所：大和セシリア

参加：大和、藤沢、さがみ南、麻生

[1年生]

麻生 ○20 - 15● 大和B

麻生 ○25 - 20● 藤沢C

麻生 △15 - 15△ 大和A

[2年生] ※8分1本

麻生 ○10 - 5● 藤沢

麻生 ○40 - 0● さがみ南・大和

麻生 ○35 - 20● 大和

麻生 ●5 - 15○ 藤沢

麻生 ○5 - 0● 大和

麻生 ○10 - 5● さがみ南

トップリーグ 前座試合

月日：12月13日(土) 13:00~

場所：相模原ギオンスタジアム

試合：トップリーグ前座試合

NEC vs コカ・コーラ

[1年生]

麻生 ●20 - 55○ 大和B

編集後記

1年間、子どもたちが一生懸命目標として頑張ってきた県大会／秋の交流大会が終了しました。目標をクリアすることにより感じている達成感、試合に勝てなくて悔しかった気持ち、それぞれを子どもたちに文章で綴ってもらいました。

一人一人の成長が文章に現れていると思います。

今回、写真は各学年の文章と合わせた形で編集いたしました。いつも写真のご提供を頂いている皆様ありがとうございます。写真の掲載枚数が学年によって偏っていますが、ご提供いただける写真が増えれば、その分掲載写真も増やせますので、今後ともご協力をお願いします。